

## 普通科目（美術Ⅱ）の学習指導案 18 No.14

## 1. 指導目標

- (2) デザインの表現の中から「椅子をデザインする」から、建築家やデザイナーによって近年にデザインされた椅子の作品から造形美や機能性を学び、同時に作者のメッセージを考え、自分のオリジナル椅子をデザインさせる。
- (2) 私たちの暮らしの中にも、様々な知的財産があり、デザイン保護と意匠権について理解させる。

## 2. 指導項目・内容

	指導項目・内容	時間(分)	指導上の留意点
導入	本時の学習内容と目標を提示する。	5	
展開	「椅子をデザインする」 ・有名デザイナーの椅子を鑑賞する 教科書の掲載作品 その他の有名な作品	15	・作品を鑑賞する中で、椅子に対する興味関心を高め、デザイナーの意図を考察させる。
	・椅子の高さと機能性について説明する。	10	・椅子の高さにより、その使われ方が違うことを理解させる。 (作業用と休息用等)
	・素材(材質)やクッション性についても考察する  ・デザイナーの心構え ・フリーランスデザイナーの事例	10	・素材やクッション性についても椅子の高さと関係があることを理解させる。 ・新しく創作したオリジナルでデザインは、自分の知的財産にすることを意識させる。
整理	感想文とポイントのまとめ	10	まとめプリントを作成しておく。
備考	高校美術2(日本文教出版株式会社) p50~51「椅子をデザインする」 インテリア計画(文部科学省) p100~106 意匠編(標準テキスト) p78~79、p87~91		